

バトンゾーン

先輩から後輩へ④

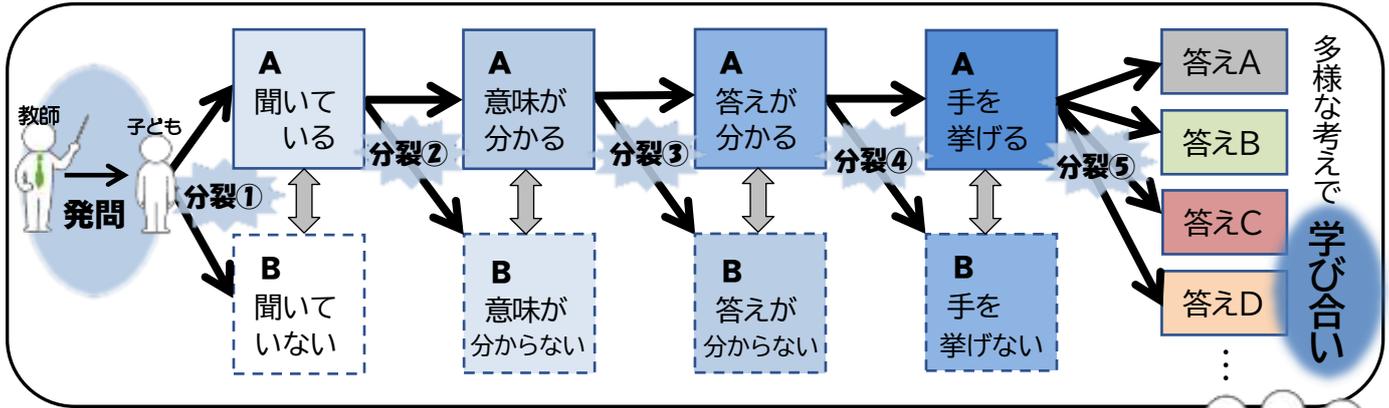
元宮教組委員長であり、3月で学校を離れ、4月からみやぎ教育文化研究センター所長になった
たかはし たつろう 高橋 達郎先生 のミニ講座です。
 様々な学習会が中止される中で、
 ここが学びの場となればと思います。



「学び合う授業・学級」づくりのポイント

～授業づくり、「発問」の問題を考えよう！（中）～

前回、「答えを知っている」教師の発問は、「答えを知らない」子どもにとって、「テスト」であると書きました。子どもにとっては「口頭試問」になります。それで、クラスに5つの「分裂」が起きます。その「分裂」をどう克服していくか、それが教師に問われるのです。



こう考えると、全員参加の授業を作るポイントは、

- (1) 発問の「分かりやすさ」、子どもの興味を引く「問い」の吟味
- (2) B の子どもへの教師の働きかけ（「もう一度言ってください」「意味が分かりません」などと要求することを授業の中で大切なこととして教え、言えたらほめること）
- (3) A から B へ、B から A への働きかけ（隣の友達がどんな様子かを気遣うクラス）
 - ・ A から B への働きかけ（「今聞いていた？」「意味わかった？」「先生もう一度言ってください」「分かりやすくいってください」と A が代弁）
 - ・ B から A への働きかけ（「今先生なんて言ったの？」「ねえねえ、ここのどういう意味？」など、困ったことを隣の子に聞くことの大切さを教える。）



こうしたことを子どもの言動で発見したら、教師は、見逃さずほめていくことで、みんなで学ぶクラスの雰囲気を作っていきます。「分裂」を利用して「結びつき」を作っていくのです。そして、分裂⑤で学び合い！では、勉強の苦手な子どもたち（分裂②B、分裂③B）をどう参加させていくか。それは次回で。

学習会のお知らせ

おーい！ 宮城の先生たちー

働きすぎとちゃうかー

せやろがいおじさんとの オンライントーク集会



詳しくは、
 分会に発送された
 チラシで
Check!

10/3 (土)
13:15~15:00

参加申込みはこちらから☞

